

# ご利用者・ご家族と交流深める

# はんの木だより

## デイサービスの最大行事・演芸会開催

### デイサービスセンター 梓



上) 扮装した職員と記念の1枚  
下) 職員の出し物に会場も大盛り上がり!



上) 理事長も100歳を迎え、皆に挨拶されました  
下) 乾杯! 美味しい食事が待っています



平成二十九年十一月十九日、七戸町中央公民館にて、デイサービスの最大行事である『演芸会』が開催されました。デイサービスのご利用者・ご家族四十五名のほか、ショートステイやグループホームのご利用者、ボランティアの皆様、法人職員併せて約八十名が一堂に会し、盛大に行われました。

開会に先立ち、敬老の表彰が行われました。今年は九十歳を迎えられた方の表彰が行われたことに加え、盛田稔理事長もめでたく百歳を迎えられたことを紹介。改めてデイご利用者・ご家族の前でお祝いをし、会場からは大きな拍手が起こりました。

表彰式の後には、ご利用者や職員によるアトラクション。参加者全員で歌や体操を行ったほか、職員が歌や踊りを披露すると、普段と違う姿に自然と拍手や笑い声が起きました。また、ボランティアに来て下さった七戸高等学校の福祉健康系列の生徒の皆さん、並びに七戸高校

出身職員による七高名物『トラジョソナバ』も披露され、会場を大いに盛り上げました。

この日の昼食は、JAゆうき青森さんによるオードブルと温かい鍋料理。さらに、法人栄養士によるミニちらし寿司も提供され、参加された皆様は「美味しい」と満足された様子でした。

午後には毎年恒例のご長寿クイズが開催。参加者から選抜された六名の方が壇上に上がりクイズに挑戦。毎年このことながら、ベルを鳴らさず回答しようとしたり、ベルを鳴らしても「わがんねえ」と答えるなど大混乱! 「エイプリルフールとは、何をしても良い日でしょう」という問題に「風邪!」と答えるなど(インフルエンザ、と聞き間違えたようです)、珍回答が続出。そのたびに会場は大爆笑でした。笑いあり、涙あり(主に笑い過ぎの涙ですが)、あつという間の一日でした。ご利用者からも「楽しかった」「また来年もやるべし」と好評だった演芸会。準備など大変なこともあります。が、交流を深める場として、可能な限り続けて行きたいと思えます。

ご参加下さった皆様、ボランティアの皆様、本当にありがとうございます。



## 非常時対応の心得を!

### 夜間想定避難訓練を実施



平成二十九年十一月十七日、特養で夜間を想定した避難訓練を行いました。

中部上北中央消防署の署員の皆さん立会いのもと行われる訓練で、施設内のどこから火元を探し、初期消火、通報、ご利用者の避難を一連で行い、利用者全員の避難完了まで何分かかるかを計ります。消防署員が火災ベルを発動させて、火災を模した赤色ランプを点灯。職員には事前に出火場所は知らされておらず、皆真剣に取り組んでいました。

緊張しながらも何とか訓練は終了。訓練後、職員からは何点か反省点が挙げられました。

- ▼ 夜間想定なのにヘッドランプをつけるのを忘れた
  - ▼ 「火事だ」と大声で叫ぶのを忘れた
  - ▼ 聞き間違えて違う場所に火元の確認に行ってしまった
  - ▼ 避難誘導に気をとられ、初期消火をするのを忘れてしまった
- 最後に消防署からもご指摘・ご指導をいただきました。
- また、消火器を使用している消火訓練も実施。火事を起こさないよう職員一同を引き締めるとともに、万が一の時にはより迅速、的確な避難、誘導ができるよう努めたいと思います。中部上北中央消防署の署員の皆さん、ありがとうございました。

特別養護老人ホーム美土里荘



平成二十九年十二月二十七日、特養で餅つき会を行いました。職員とご利用者で代わる代わる杵を持ち、ペタンペタン。一升のもち米はあつという間にお餅になりました。



そして出来たてのお餅に食紅などで色をつけ、丸めて水木の枝に挿し、繭玉飾り作り。ご利用者と職員が一緒に作り、一生懸命お餅を丸めて水木に付けていました。上手く付けられた男性ご利用者は「出来た！」と万歳で大喜び。また、繭玉飾り作りの後には皆でなべっこ団子を食べ、「新年を迎える準備が出来た！」と笑顔があふれていました。

拘束・虐待はしない！ 身体拘束・虐待に関わる園内研修開催

平成二十九年十二月七日、身体拘束・虐待ゼロ対策委員会による勉強会を開催しました。私たちは日々の介護をする中では決して身体拘束をしてはいけません、生命の危険がある時などやむを得ない事情により一部制限・抑制をすることもあります。例えば経管栄養の方が、栄養が流れている最中に頻りにチューブを抜いてしまうなど、生命の危険があると判断される時、ご家族の了解を得てミトンを着用する時があります。今回の研修では、職員が鼻からのチューブ挿入や、使用が禁止されている拘束衣（つなぎ服）などを体験。「自由に動けない」「ストレスになる」といった意見が聞かれ、参加職員は拘束された方の気持ちを理解することが出来たようでした。また、意識せず使ってしまうような「ダメ！」「○○言葉による拘束（スピッチロック）」になってしま



うことも勉強しました。

グループホーム櫟



グループホームでは一月三日、花松神社に初詣に出かけて来ました。昨年は混雑し、車内から降りられなかったご利用者もいましたが、今年はゆっくりお参りすることが出来ました。冬場は外出の機会も少なくなり、が、せつかくの外出と皆さん張り切り、しっかり上着を着込んで車に乗り込んでいました。行き、帰りの車中でも話が尽きることなく、とにかく賑やかでした。慣れない雪道をお互いに手を取りながら参道を進み、真剣な表情でお参り。何をお願いしたのか尋ねると「今年も良い年になりますように」とのこと。新しい年も、またご利用者の皆様と一緒に、そして、ご家族の皆様と共に素敵な一年になりますように。

職員コラム

美土里荘訪問介護事業所

サービス提供責任者

しんどう きよこ 新堂 喜代子

毎号好評(?)を頂いている職員コラムのコーナー。今回は、美土里会でも指折りの癒しキャラをご紹介します！

緑に囲まれ四季を身近に感じられる美土里会に勤務し、もうすぐ八年になります。ホームヘルパーとして、ご自宅へ生活されるご利用者と関わりを持ちながら、毎日元気をいただいております。

訪問先への移動中には、キツネやカモシカに遭遇するなど「珍出会い」があり、このような動物ウォッチングも楽しみの一つです。

今年家族の健康を考え、家事を手抜きせず、食生活を工夫していくことを小さな目標としています。人と触れ合う仕事を通し、丁寧な仕事を心がけていきたいと思っております。どうぞよろしくお祈り致します。



感染症・食中毒シーズンに備えよう

外部講師を招き感染症対策勉強会を開催



一月九日、株式会社花王の阿保朋子氏と小松妙子氏を講師に招き、感染症対策の勉強会を開催しました。今回は手指衛生について詳しくご講義をいただきました。手指衛生はなぜ必要なのか？正しい手洗い方法や手指消毒方法、スキンケアの重要性を学びました。理解しているつもりでもインフルエンザやノロウイルス等が流行してしまう今の時期、感染を広げない為一人ひとりが意識して、正しい手洗い・消毒を実施したいと思えました。

手洗いの注意点

- ① 最初に水で手をぬらす（予備洗い）
- ② 殺菌成分入りの洗剤を使い、少なくとも十五秒、可能なら三十秒くらいにする。手の甲、指先、爪先、指の間・付け根、親指、手首を意識して洗う
- ③ 流水で十分にすすぐ
- ④ ペーパータオルを使って完全に乾かす
- ⑤ 使用したペーパータオルで蛇口を閉める
- ⑥ アルコールを使い手指を消毒する。使う量はボトルを一回押した量（液体なら三ミリリットル、ジェル状なら一ミリリットル）。

適切な手洗い・消毒が、最も簡単で効果的な感染症対策です。日ごろから意識して正しい手洗いを行い、感染症にかからないようにしましょう！



編集後記

あけましておめでとうございます。御利用者の皆様と職員一同、風邪など引かず、健康に新年を迎えることができました。

今号では、十一月から一月の行事を記載しましたが、これ以外にも館内の飾り付けや行事食などで、ご利用者の皆様に季節感を味わいながら過ごして頂けたと思います。寒さの厳しい季節に入り、当施設ではインフルエンザ・風邪等の蔓延防止を考慮し面会規制をさせて頂いておりますが、ご家族様の皆様にはご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。今年も皆様にとって良い年でありますよう心よりお祈り申し上げます。（千）